

令和2年度に MPH コースに入学しました、橋本千明と申します。看護専門学校を卒業後、病棟看護師を3年、その後青年海外協力隊や、離島・アジアでの医療活動に参加しました。現在は岡山県内の医療系 NPO で勤務しています。

現職場では、それまで経験のなかった、被災された方や難民など集団を対象とした活動の調整に携わることになりました。様々な立場の意向を尊重しつつも、状況を見極め、どのようにすすめていくのが妥当なのか、粘り強い協議が必要な場合があります。そんな時に、複雑な問題に対して論文や知見を根拠に議論が進む様子、アイデアを形にすることで共通理解が構築されていき、物事が動き出していく様子を目にし、自ら積極的に学ぶことは異なる国や組織、個人、時に組織の内部など様々な考えの人と歩み寄りひとつの手助けになるのではと思うようになりました。自己流では難しいと思っていたところ、本学のコースと出会いました。初学者にも関わらず受け入れて頂いたことに感謝しています。

本教室の良いところは、学びに対する自由度の高さ、学生の求めに応じて対応して下さる先生方、職種も経歴も多様な先輩方・仲間とその懐の深さ、様々な他分野との繋がりです。疫学を共通言語として議論したり、医療経済学や産業保健の授業など各分野の基礎理論を学ぶ中で、多角的な視点を持つことの大切さを感じています。

入学前はフルタイム勤務でしたが事前に「学ぶ時間をしっかりとることをお勧めする」とアドバイスを頂き、現在は週3日勤務の仕事と両立しています。数式や英語のシャワーを浴びつつ、データや統計ソフトの扱い方など多岐にわたる勉強は大変ですが、想像していた以上に面白く奥深い世界で、日々発見の連続です。

関心のある方、迷われている方、ぜひ挑戦してみてくださいと思います。